

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

1 事業の成果

令和3年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下センターという）の管理・運営の第4期2年目である。指定期間は令和3年度～令和7年度の5年間である。

新型コロナウイルスの感染（以下、コロナ禍）が続く中、就業支援講習会や生活支援講習会、その他の事業は感染予防対策を行いながら予定通り実施できた。新規で就業支援セミナーをマザーズハローワークと一部連携して4回実施した。養育費確保支援事業は、徐々に周知が進み、対応件数が増えている。日常生活支援事業は利用件数が年々増加しているが、稼働できる支援員が不足していることが課題である。

福岡市自立支援プログラム策定事業は、新規策定者が減少した。プログラム策定には面談が必要であり、コロナ禍での外出控えなどが影響したと考えられる。本事業は、伴走型の就業支援で生活保護受給者等就労自立支援事業の活用やハローワークとの連携により、策定者の就職につながった。

事務部門では、給与・会計ソフト、Kintone（クラウド型の業務改善プラットフォーム）を導入して、業務の効率化、データの一元化、情報の共有化を図った。

NPO事務所は週2回5時間ずつ開所し、そのうち3時間は電話相談を受けた。

福岡市社会福祉協議会からの事業受託（お年玉企画として図書カード贈呈）、厚生労働省事業（食事等支援事業）、西日本新聞民生事業団からの提供チケットや映画鑑賞券の配布などひとり親を対象とした事業を手掛けることができた。今年度初めて「高校生お祝い金事業」を創設した。広報が十分ではなく、募集予定人数に達しなかったが、受け取ったひとり親家庭の父母、お子さんからは「大事に使いたい」との声が寄せられた。（株）ウエストのうどん玉募金、個人からの寄付金を活用した。福岡市ひとり親家庭情報ポータルサイト「たよって」の創設にあたり、受託先（株）QTメディアに協力し、体験談コラムのインタビュー可能な当事者を紹介した。令和5年3月に公開された。

子育て支援事業のメインイベントである親子リフレッシュ事業は、3年ぶりに貸切バスで出かけることができた。朝倉市の民間果樹園で柿狩り、餅づくり、抹茶体験など敷地内を自由に駆け巡り、地元のボランティアの方々とも打ち解けて、楽しい時間を過ごせた。傍らで参加者どうしの交流が図られた。（公社）日本フィナンソロピーよりの寄付金を費用に充てた。

西日本新聞民生事業団の招待により、唐泊ビレッジにおいてバーベキューと海岸清掃のイベントが実現した。対象を中学生がいるひとり親家庭としたので、落ち着いたなかにも同年齢で楽しむ姿があり、会話が少なくなっている日常とは違うという親御さんの驚きもあり、ニーズを感じられた。九州大学の協力で、海洋ゴミに関する学習と実践で、環境問題を考えるきっかけともなった。

企画委員会では、子育て中や子育て終了後のシングルマザー3名から子育て支援事業への要望や提案を聞いた。今年のクリスマス会は、飲食なしで久々の「風の子九州」観劇会をすのこ公民館で開催した。まだ密集状態は感染拡大が懸念されるため、人数を絞って募集した。チャリティーサンタから届いた絵本と焼き菓子詰め合わせをプレゼントし喜ばれた。（公社）日本フィナンソロピーと国際ソロプチミスト福岡中央からの寄付金を費用にあてた。恒例の花見は、コロナ感染拡大防止のため、今年も中止とした。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザーサポート団体全国協議会では、コロナ禍が続くため、仕事を失ったり、収入が減少したひとり親への支援を各地で継続している。認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむが「だいたいぶだよ！基金」などに企業と個人からの寄付金を集め、参加団体は申請することで活動資金を得られた。当団体は新生活応援プロジェクトと銘打って、使い勝手のいいクオカードを送った。食糧支援として寄付金で（株）ピエトロからの提供品とお米、厚生労働省の食事支援事業として、お米10Kなど、季節ごとに希望者に届けることができた。

7月に山口市で全国連絡会、3周年記念集会を開催した。毎月1回、Zoomで定例会議を行い、情報交換や行動計画に向けた打合せを行った。

令和3年3月に始まった家族法に関する法制審議会において中間試案が出される局面となっており、令和4年9月から、弁護士、研究者などを招いてZoom学習会が実行委員によって計画された。関心がありそうな人々に呼びかけ、共同親権について理解を深めた。12/6から2/17まで中間試案に対するパブリックコメントが実施されたので、たくさんの人に当事者の声を届けたいと思い、学習会を開催し、団体としても意見を提出した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	令和4年4月～令和5年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	6人	福岡市内のひとり親、寡婦	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
相談事業	離婚、生活相談 (電話、メール)	令和4年4月～ 令和5年3月	当会事務所	2人	主としてひとり親 77人	0
セミナー事業	共同親権学習会	令和5年1月7日	福岡市ボランティア センターあすみん	2人	8人	35
		令和5年2月5日	福岡市健康づくりサポート センター あいれふ	2人	10人	
	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和4年11月20日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 41人	3
出版事業	母子家庭に関する 会報の発行	年3回(6月、11月、 3月)	当会事務所	2人	購読者 141人	72
子育て 支援事業	親子でバーベキューと海岸清 掃	令和4年9月25日	福岡市西区 唐泊ビレッジ	2人	ひとり親と子ども 20人	54
	リフレッシュ事業 親子レクリエーション	令和4年11月13日	朝倉市 梅香園	2人	ひとり親と子ども 46人	193
	親子で楽しむクリスマス	令和4年12月18日	すのこ公民館	2人	ひとり親と子ども 57人	199
	入学お祝い金事業	令和5年3月	当会事務所	2人	ひとり親と子ども 54人	2,708
	花見	新型コロナ感染防 止のため中止			ひとり親と子ども 0人	0
調査・研究 事業	実施せず					
福祉事業	食糧支援、映画鑑賞券・美術 館チケット・おてらおやつクラ ブ配布 (カブコン基金、ピエトロ提供 品含む)	令和4年4月～ 令和5年3月	当会事務所	2人	福岡県内のひとり親家庭 1068人	1,321
他団体の 事業受託	福岡市社会福祉協議会 (お年玉企画、図書カード贈呈)	令和4年12月～ 令和5年1月	当会事務所	3人	福岡市内のひとり親 452人	2,730
	厚生労働省 (ひとり親家庭食事支援事業)	令和4年8月、12月	当会事務所	4人	福岡県内のひとり親 800人	3,449
	福岡市立ひとり親家庭支援セン ターの管理・運営	令和4年4月～ 令和5年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	11人	福岡市内のひとり親、寡婦 9092人	49,718
	福岡市ひとり親家庭等日常生活 支援事業	令和4年4月～ 令和5年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	21人	福岡市内のひとり親、寡婦 300人	3,426
その他法人 の目的達 成の為の事 業	シングルマザーサポート団体 全国協議会活動	令和4年4月～ 令和5年3月	各団体事務所にて Zoom会議	1人	参加団体 32団体	0
		令和4年12月	議員会館(東京)院内集 会 Zoomにて参加	1人	参加団体 10団体	0
		7月1日、2日	3周年記念集会(山口)	2人	参加者 84人	40